



社団法人 情報サービス産業協会



情報労連

情報サービス産業の魅力向上に関する共同宣言

今日、ICTの利用は生活のあらゆる場面に浸透しており、今や、私たちの仕事や生活にとって欠かせない存在となっている。また、サービスの安定提供やセキュリティへの対応等、情報サービス産業の役割は、ますます重要性を増している。

こうしたICTの進展は、情報サービス産業にとどまらず、全ての産業の発展に寄与しており、国際競争力強化の観点からも、情報サービス産業の発展・成長は欠かせないものとなっている。加えて、近年における環境保護に対する世界的な意識の高まりといった面からも、ICTを活用した環境負荷の少ない社会の実現等、情報サービス産業の重要性は日々増してきている。

現在、米国の金融危機に端を発した世界的な景気の後退は、製造業のみならず日本国内の情報サービス産業へも大きな影響を与えている。この難局に対処するためには、産業に関わる主体が一丸となって取り組みを進めていく必要がある。

社会からの要請に応え、また情報サービス産業の持続的な発展を実現するためには、改めてこの重要な産業を支えているのは『ヒト』であるとの認識に立ち、人材の確保、優秀な人材の育成に努めることが肝要である。そして、人材を確保するためには、情報サービス産業自身が魅力に溢れた産業でなければならない。

情報サービス産業協会と情報産業労働組合連合会は、『ヒト』が育ち、活躍できる環境の確立に向け、「ワーク・ライフ・バランスの実現」をはじめとする「魅力度向上」を通じた情報サービス産業の健全な発展・拡大を図るため、協調し最大限の努力を行うこととする。

2009年7月16日

社団法人 情報サービス産業協会
会長 浜口友一

情報産業労働組合連合会
中央執行委員長 加藤友康